



# 例会報告：2014年9月30日（晴れ）第1860回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2014年9月30日 12：30～13：30

## ◆ 会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さんこんにちは、先週はお休みでしたが、その前の週はガバナー公式訪問で時間延長までしてご苦労様でした。ニュースでは、子供が殺されるような事件が起きたり、突然火山が噴火したりして、何人もの登山家が命を落としております。いつ何が起るかわからない時代になってきました。本当に恐ろしい時代だと思います。

本日のお話のテーマは『悲しみの数だけ、人は成長できる』という事で、今日のことばは、「涙とともにパンを食べた者でなければ、人生の本当の味はわからない」これはドイツの詩人でもあり小説家ゲーテのことばです。当時のヨーロッパで一大ムーブメントを巻き起こした小説「若きウェルテルの悩み」というゲーテの実体験を元に書かれた失恋の物語です。舞踏会で出会った少女に恋をした主人公は少女に婚約者がいることを知って苦悩。思い悩んだあげく、住んでいた故郷を離れ、最後には自殺してしまうという内容です。ゲーテは辛い失恋経験をした後、この作品を書き上げました。彼がもし悲しみを背負っていなければ、この作品は存在しなかったかもしれません。同じ時代を生きたナポレオンもこの作品の愛読者だったといわれています。悲しみは人を成長させるといいます。次に困難が襲ってきたとき、冷静に対処する心構えが身につくのです。自分と似た悲しみを背負った誰かを救うことも出来ます。ところで、皆さんは悲しみに直面した時、どうやって対処していますか。「辛いときこそポジティブに物事を考える」。確かに得策といえます。ですが、ときには無理に前向きに考えようとすることが逆効果になることもあるのです。人は誰でも、ポジティブな考え方がどうしても出来ないときがあります。そんなときは無理にまえむきに考えようとせず、ただ悲しみに暮れる日があってもいいのです。ポジティブ思考が出来ない自分を認めて、許してあげることも結果的に早く立ち直れるきっかけになると覚えておきましょう。そして悲しくて辛い経験も、あなたの人生を豊かにしてくれると信じて生きましょう。もう一度いいますゲーテのことばです「涙とともにパンを食べた者でなければ、人生の本当の味はわからない」という事で、『悲しみの数だけ、人は成長できる』ということでした。本日もよろしくお願いいたします。

## ◆ 幹事報告

大川 久弥 幹事



1)本日、持ち回り理事会に於いて3名の新会員の入会が承認されました。皆様のもとに決定の通知書が発送されますので、宜しくお願い致します。

2)本日でクールビズは終了となります。来週より上着とネクタイ着用でお願い致します。

- 3) 来月のロータリーレートですが、1ドル106円となります。
- 4) 次週、第4回理事会が開催されますので、理事の方はご出席をお願い致します。

## ◆ 委員会報告

親睦活動委員会・須藤委員長

会員増強と親睦活動委員会からのお知らせです。本年度3ヶ月が経ち新入会員の歓迎会を開催したいと思います。10/7(火)例会後の18：30から、場所はYogetsu、会費は6000円です。出欠のお返事は今日事務局までお願いします。

## ◆ 出席報告

小川 和夫 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月30日	50(47)	44	0	93.62%
9月16日	50(48)	43	0	88.37%
9月9日	49(43)	35	0	81.40%

- 【欠席者】 3名  
石内 正彦、一寸木 信雄、大川 誠
- 【今回MU】 0名
- 【前回MU】 増加なし
- 【前々回MU】 増加なし

## ◆ 卓話

「インターアクトクラブとローターアクトクラブについて」



地区ローターアクト代表  
羽生 圭吾 様

国際ロータリー2780地区2014～15年度ローターアクト地区代表の羽生圭吾と申します。所属は小田原城北ローターアクトクラブ、昭和59年生まれで現在30歳。(株)明治の技術開発研究所に入社8年目の研究員です。2012年に小田原城北ローターアクトクラブに入

会して、翌年会長を、本年度は地区代表をやらせていただいております。2780地区内でのインターアクトとローターアクトクラブの位置付けについて。こちらは地区のHPに載っている組織図です。五大奉仕部門の一つ、青少年奉仕プログラムの中にインターアクトとローターアクトがあります。現在の組織図では一番上にガバナーの渡辺さま、その次に青少年奉仕部門担当副幹事の宮本さまがいらっしゃいます。私も宮本さまに色々相談しながら地区の活動をしています。その下に青少年奉仕委員会、そして地区ローターアクト委員会があります。インターアクトクラブについても紹介させていただきます。インターアクト委員会副委員長から「インターアクトは高校生で例会などになかなか行かれないので、一緒に広めて欲しい」と依頼されました。インターアクトクラブは12歳から18歳までの青少年のための奉仕プログラムで、支援や指導を与えるロータリークラブによって後援されています。現在2780地区内では12クラブ、約200名が所属しています。神奈川県西部の121の高等学校のうち12校にインターアクト部があり、日本国内でも屈指の人数です。主な地区イベントは5月の役員研修会、11月の年次大会、12月海外研修、3月に一泊研修という流れで毎年行われています。更に月に1回、地区内各インターアクトクラブの代表者が合同会議を開いています。各クラブには部活のように顧問の先生がついて指導していただき、奉仕プロジェクトを行っています。中央と鎌倉周辺が多いのですが、小田原も相洋高校、立花学園にクラブがあります。続いてローターアクトクラブを紹介いたします。ローターアクトとは「地域社会のニーズのために奉仕し、友情や仕事の輪を広げ、世界理解を深めようとする18歳から30歳までの青年男女」です。2780地区内のローターアクトは現在4クラブ36名が所属しています。インターアクトに比べて規模が小さく年々縮小している状態です。現在、相模原・鎌倉・横須賀・小田原城北の4つだけです。昨年の地域奉仕活動は、小田原駅前商店街の清掃、献血の呼びかけ、酒匂川花火大会でのピラ配り、公園の草むしり、酒匂川清掃活動などです。昨年度ローターアクト支援プロジェクトリーダーの須藤さんには色々参加していただきお世話になりました。他にもAPRRC（アジアローターアクト大会）参加や交換留学生と一緒に旅行、また専門知識開発や親睦の例会も開いています。

日本国内のローターアクトクラブは2014年3月現在33地区にあり、総数は300クラブ、会員数は3306名でした。地区平均で9.4クラブ、104名程度になります。2780地区は当時でも4クラブ39名しかおらず、非常に規模が小さい活動範囲にとどまっています。自分としてはもっと活動を発展させていきたいと考え、色々な企画案を作っています。今年度の活動としては、まず大きくするより存続させる活動が重要です。規模が小さくなり魅力的な活動ができなければ人が集まらない負の連鎖が起きてしまいます。今解体の危機にあるのが鎌倉です。4名しかおらず活動が機能していません。地区として挺入れしなければ今年度で消滅してしまうでしょう。そこで10/4・5に2760地区ローターアクトの方々を招待して、国内研修という形で一緒にアクトの将来を考えるイベントを企画しています。これからは鎌倉再興に向けた企画を考えていきたいと思っております。ローターアクトを知ってもらうため新しく提唱していただけるRCを探す活動も行っています。会合でお会いした各RCに卓話実施の願いをして、9/17には茅ヶ崎湘南RCに行きました。今後も継続していくつもりです。またインターアクトクラブとの連携強化を考えています。9/27にインターアクトの地区行事『チーズ作り体験学習会』で講師をやって、大変好評でした。今後に繋がる活動ができたと思います。インターアクトの一泊研修という大きなイベントがありますので、その中でまたローターアクトが企画するものを提案していくつもりです。そして関東ブロックの研修会を開催する予定です。東京北部・南部、神奈川東部・西部、埼玉西北・南東、千葉、群馬、栃木、茨城、静岡山梨の11地区のローターアクトが一室に集まる会議です。本年度は私が議長で、各地の代表・幹事の方々と意見交換や打合せを進めております。ローターアクト年次大会の開催も企画しています。大きい大会にしたいと企画を進行させています。地区大会新世代交流会に向けた新世代会議の準備も進めています。地区代表として未熟な部分もありますが、小田原城北ローターアクト代表として恥ずかしくないよう全力で頑張ります。根っことなる自分のクラブでも、10月の例会で小田原城北RCの方に卓話をいただくことになっていますので、よろしくお願いいたします。

